

リーグ昇格へ 「奪還 勝利追及」!!



春の日差しが注ぐグラウンドに選手たちの声が響いている。体育館や道場では気合の入った声がかましている。今年もまたキャンパスにフレッシュな新入生を迎えた。年初には男子駅伝部が3年ぶりにシード権を獲得、城西大学のスポーツは好スタートを切った。新しいシーズンの始まり、各部の活躍が期待される。「城西大学スポーツ」(Jスポ)とともに、選手たちに熱いエールを送ろう。

ご入学おめでとうございます



白幡 晶 学長

ご入学おめでとうございます。新入生の皆さんは、新たな可能性を磨くために、本学に入学されたことだかと思えます。城西大学は学生たちが、多くの新しいことに挑戦して、これまでは違う自分を発見し、可能性を広げる環境をできる限り作りたくと考えています。大学におけるスポーツには、色々な意味があると思います。競技における勝利の栄光を目指す人には、道を極める厳練の場となり、座学だけの生活に物足りなさを感じる人にとっては、若いエネルギーの発散の場ともなるでしょう。また、野球や駅伝、陸上競技をはじめとする全国レベルのクラブに所属する身近な仲間たちが、大きな大会やオンラインで活躍する姿に在学学生として心躍らせることは、同意の仲間たちとの絆を強し、連帯意識を大きく広げることにもなると思います。それぞれのスポーツに対する思いは、まちまちですが、スポーツを通して目標に近づく体験や、仲間の活躍に心躍らせる臨場感は、間違いなく学生生活を充実したものにしたいと思います。学生たちが取材を通してつづらけている「城西大学 Sports」は、城西大学の素晴らしい方々のヒントを、皆さんに提供することです。

記者募集
記事を書いてみませんか。初心者でも大丈夫です。新聞記者経験がある職員が取材・書き方を基本から指導します。興味がある学生、やる気がある学生、大歓迎です。写真、イラスト、漫画などでも協力してくれる学生もぜひ参加してください。
連絡はこちらまで j-sports@josai.ac.jp

タレント豊富な前線、即戦力新人に期待 「城西を盛り上げたい」(猿山監督)

サッカー部

期待の選手

平井寛大 (経営3-MF)
中田稜大 (現代政策4-FW)

主将

猪口礎生 (現代政策4-GK)



サッカー部の選手たち

プロフィール
部員数：170人
部長：平塚 潤
監督：猿山 誠
主将：猪口礎生 (現代政策4)
主務：遠城智道 (理学3)

試合日程
3月 天皇杯埼玉県大学代表決定戦
4月 彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会
5月～7月 アミノバイタルカップ2018埼玉県大学代表決定戦
5月～7月 埼玉県1部リーグ(前期)
6月 アミノバイタルカップ2018プレオフ

7月 アミノバイタルカップ2018 関東大学サッカー選手権大会
9月～10月 埼玉県1部リーグ(後期)
11月 埼玉県1部リーグ(前期)
12月 関東大学サッカー大会 新人戦

有力新入生
(内は出身高校とポジション)
西 周希 青森山田 GK
堀越 成 桐生一ノ宮 FW
齋藤 雅之 浦和学院 FW

昨年、埼玉県1部リーグで4連覇がかわり、関東2部リーグへの挑戦権を得ることができなかったサッカー部。今年のスタートはスバリ、奪還 勝利 追及だ。猿山監督は「守備に若干の不安はあるが、前線にはタレントが豊富。前が後ろを助けるようなゲームできれば十分に戦える。即戦力の新人もあってチームアップをしたい」と語り、キープレーヤーとしてFWの中田稜大(現代政策4)とMFの平井寛大(経営3)を挙げた。3月の静岡キャンプでは、1年を通して戦える体作りを中心に行った。主将の猪口礎生(現代政策4)は「昨年は大変悔しい思いをした。今年こそ、城西を盛り上げられるよう、シーズンになった今年こそ、最大目標である、度目の関東2部リーグ復帰を目指す」と決意を語る。猿山監督は「昨年は結果が出なかった。今年になって男子駅伝部からもバリエーションをいれた。各都府県からバリエーションをいれた。各都府県からバリエーションをいれた。各都府県からバリエーションをいれた。」

「結束」掲げ 硬式野球部 2年ぶりの1部昇格を目指す

「今年にかける覚悟が出てきた」
(小原沢監督)
首都大学野球2部という難関の1年を経て、硬式野球部は「結束」利他心と自責」をスローガンに掲げて2年ぶりの1部昇格を目指す。昨年は9チーム中、春季は7位、秋季は5位に終わった。小原沢重雄監督は昨年、同僚の佐北から、チームには今年にかける覚悟が出てきた。自ら考え、自ら動く集団に変わらなくてはならない。一人ひとりが利他心と自己責任の覚悟を持って戦えるかが1部昇格の力を握ること。選手たちが考えて、4年生が練習後の清掃を行い、3年生が合宿所の清掃を行うなど、結束の具体的な効果も出てきた。

主将

南 壮流 (経営4-二塁手)

期待の選手

秋山裕磨 (経営4-中投手)
荒川祐貴 (経営4-投手)

プロフィール
部員数：142人
部長：草野素雄
監督：小原沢重雄
主将：南 壮流 (経営4)
主務：秋山裕磨 (経営4)

試合日程
4～5月 春季リーグ
9～10月 秋季リーグ
11月 明治神宮記念大会 新人戦



2月に行った長崎合宿での選手たち



取材スタッフ
松岡 遼史 (薬学部6年) 西村健太郎 (薬学部6年) 巻嶋 仁美 (薬学部6年)
本多 里菜 (薬学部5年) 若島 麻未 (経営学部2年) 宝蔵寺佑樹 (現代政策学部2年)
傳法谷佑樹 (現代政策学部2年) 石川 慧 (現代政策学部2年) 西村 太郎 (現代政策学部2年)
金子 地典 (理学部2年)

アドバイザー
短見寺英紀 (2014年度卒業) 吉田英規 (2015年度卒業) 高森潤美 (2017年度卒業)

Jスポ ウェブサイト はこちら
<http://www.facebook.com/JOSAI SPORTS>

インカレ優勝へ 限界決めず成長を 海外チームとのゲームで収穫と課題

女子ソフトボール部
今年の女子ソフトボール部は、大エースと呼ばれる選手はいないが、去年のメンバーがほとんど残った。下の世代も力をつけており、選手層の厚みだけでなく、走塁を絡めた攻撃スタイルで得点を稼ぐのがチームの特徴だ。特にヒップチャームは色々なタイプをそろえている。
9月10日から18日までのハワイ研修では、ハワイ大学とハワイ・パシフィック大学の2校と対戦。投打ともにバリエーションのある相手に対し、オフシーズのトレーニングで積み重ねた守備力・運動力で対抗。海外チームとのゲームで収穫と課題を得た。期間は1週間と短いが、今後に向けての収穫と課題を得た。期間は1週間と短いが、今後に向けての収穫と課題を得た。



ハワイ大学との試合後の集合写真

全日本の決勝へチーム底上げ 昨年はベスト4に進出し3位

男子ソフトボール部
昨年の全日本大学選手権でベスト4(3位)と過去最高の成績を取った男子ソフトボール部。今シーズンはエースだった高橋が抜けた穴を打撃でカバーする。打の中心はザード・保科太良、現代政策(経営3)だ。昨シーズン打率5割、本塁打20本という保険は「もう打つつもり」とどんでん打っていき」と意気込み。
練習は冬から離れた西戸ランドで行っている。照明がなく、冬は練習時間が限られる。また夏の時期は草取りにも汗を流す。恵まれた環境ではないが、主将の宮原謙輔(現代政策4)は「一番がチームの底上げ。全員が活躍できるようにしたい」と話している。1日2試合あるときは、全員が出てプレーすることによってチームの底を高めたいと意気込み。



男子ソフトボール部の選手たち

プロフィール
部員数：30人
部長：木村総一郎
監督：宮原謙輔 (現代政策4)
主務：町田幸正 (経営3)

ソフトボール部 試合日程
4月 全日本総合選手権埼玉県予選
5月 春季リーグ
6月 関東学生選手権
8月 東日本大学選手権
10月 全日本大学選手権
11月 秋学期リーグ
12月 関東大学選手権

ここでしか出来ない経験
入学当初、サークルに入ることは全く考えていなかった。しかし月日が経つにつれ、自分も何かしたいと考えようになった。そんな時に友人からJスポ(城西大学スポーツ)に入らなかと誘われた。正直あまり乗り気ではなかったが、入部を決意した。私は人と話すことがあまり得意ではない。当初は上手く取材できるかどうか不安だった。初めて記事を書いた時の緊張は今でも忘れない。しかし、取材の回数を重ねていくうちに次第に記事がまとまるようになった。私はこのサークルに入って良かったと思う。記事を書いて新聞に載った時の達成感と選手たちに直接インタビュー出来ることは、このサークルの魅力だ。この号ではサッカー部を担当した。上手インタビューできる不安だったが、事前準備をしておけばそれなりに取材をすることができた。この1年間で少しは成長できたと思う。スポーツにかかわりたい人、文章を書くことが好きな人、まだ少しでも興味を持った人は、ぜひJスポへ。【傳法谷佑樹】

